

太陽と大地の恵み 砂糖～日本の砂糖の安定供給を支える仕組み～

農産局地域作物課

開催日: 令和4年10月31日(月)～11月4日(金)(11月3日(木)は祝日のため休館)＜4日間＞開催

来場者: 323人

内容: 砂糖は私たちが生活する上で欠かすことの出来ない食品であり、日本の食料自給率の維持にも大きく寄与しています。私たちが毎日いろいろな形で摂取しているお砂糖の安定供給を支える仕組みをパネル等でわかりやすく紹介しました。また、ひと口に砂糖といっても、その形、色、風味もさまざまです。当展示では、バラエティ豊富な砂糖とその特性を紹介するとともに、原料のさとうきびやてん菜が地域経済や雇用などを支えていることを紹介しました。



砂糖の原料であるさとうきび及びてん菜について栽培地域などを解説したパネルや、両者の実物大の模型、さとうきびの実物断片を展示



粗糖、中双糖(ちゅうざらとう)、和三盆(わさんぼん)等の様々な砂糖を解説したパネルや実物サンプルを展示



日本の砂糖の安定供給を支えている砂糖やでん粉の価格調整制度を解説したパネルを展示、同制度の説明パンフレットを配布



砂糖の基礎知識として、非常食として活用できること等を解説したパネルを展示、砂糖に関するQ&Aを記載したパンフレットを配布



実際に販売されている上白糖、グラニュー糖、三温糖、氷砂糖等の砂糖製品を多数展示、各製品の特長を説明したパンフレットを配布



さとうきび及びてん菜の栽培から砂糖の生産までの取組、砂糖に関する正しい知識、砂糖の調理科学などのビデオを放映